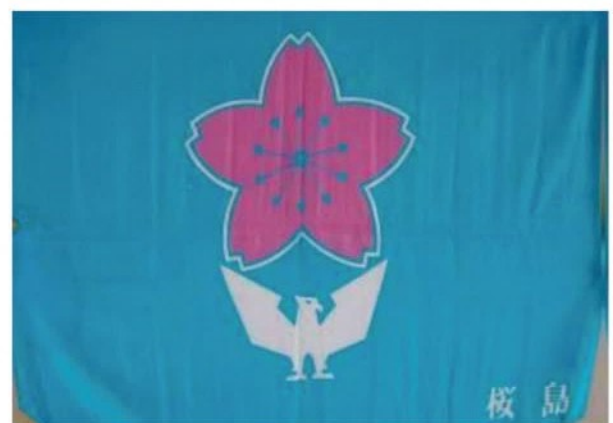
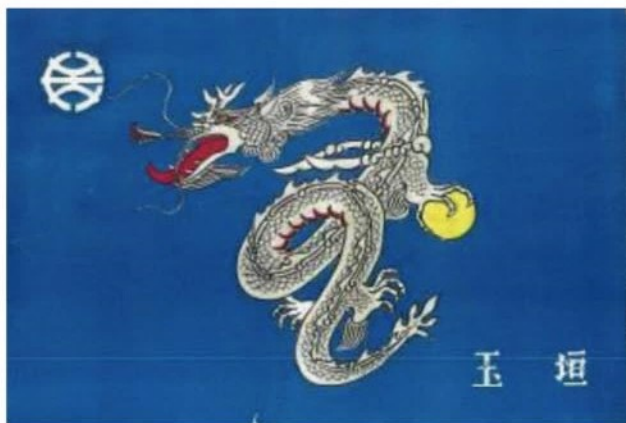


# 玉桜まちづくり協議会

## 地域計画



誰もが地域への愛情と誇りを持ち  
安全安心に暮らしていける地域の実現を目指して

2020年3月

## 計画策定にあたって

鈴鹿市では、市内全域に「地域づくり協議会」の設立を進めています。

これは、少子高齢化や核家族による介護、子育ての課題、自然災害への対策など、安全安心な暮らしのために、行政だけでは対応しきれない部分を、地域でも自らの知恵と工夫をもって取り組んで欲しい、というメッセージがこめられています。

市は、平成31年3月25日に「鈴鹿市地域づくり協議会条例」を制定し、玉桜まちづくり協議会は、この条例に基づいて令和元年10月27日に設立された「地域づくり協議会」です。

地域が計画的に「地域づくり」を進めるよう、同条例では、「地域計画」の策定を義務づけています。

この計画は、玉桜まちづくり協議会の運営の方向性を示すものです。

協議会が立ち上がって間もないことから、十分議論したとはいええない部分もありますが、玉垣・桜島への愛着と、私たちの住むまちを良くしていきたいという思いを込めた計画になっています。

ぜひ、ご高覧のうえ、皆様のご理解とご協力、まちづくり活動へのご参加をお願いします。

玉桜まちづくり協議会  
会長 水野克則

## 1 玉垣・桜島の姿

### (1) 成り立ち

昭和17年12月1日に2市12村が合併して「鈴鹿市」が誕生しましたが、その村の1つ「河芸郡玉垣村」が今日の玉垣地区（行政区）の区域です。

地理的には鈴鹿市の東寄りに位置し、東西約3km、南北約4km、総面積11.47km<sup>2</sup>で、人口では白子地区（行政区）に次いで2番目に多くなっています。

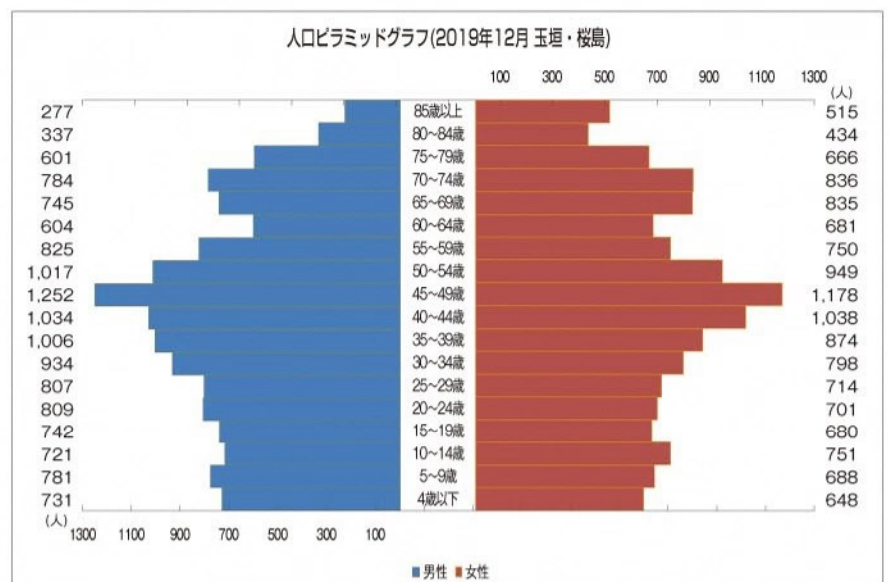
この地区は、国道23号によって東西に大きく分かれ、まちづくり協議会においては、東側の区域を「玉垣」、西側の区域を「桜島」、2つ合わせて「玉桜（たまざくら）」とし、これが本協議会の命名の由来となっています。

### (2) 基礎データ

（令和元年12月末現在）

世帯数 11,844世帯  
（全市86,854世帯）

人口 27,693人  
男 13,957人  
女 13,736人  
（全市199,882人）  
（男 100,040人）  
（女 99,842人）

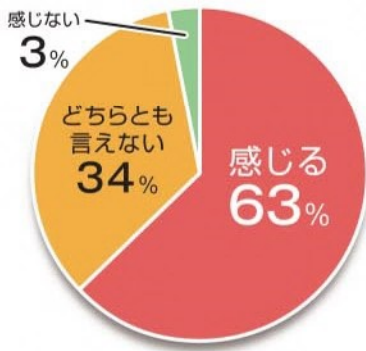


## 2 住民の意識

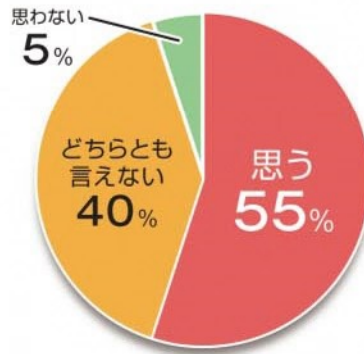
まちづくりアンケートから（平成31年1月実施）

対象8,521世帯 回収率52.18%（回収数4,446枚，回答者数10,136名）

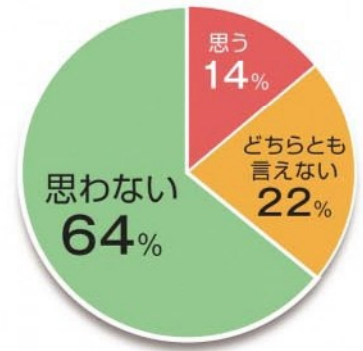
Q1 今のまちに住んでよかったですと感じていますか？



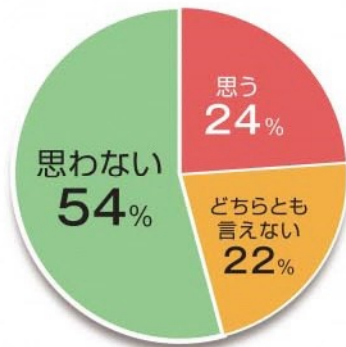
Q2 安全・安心に暮らせるまちだと思いますか？



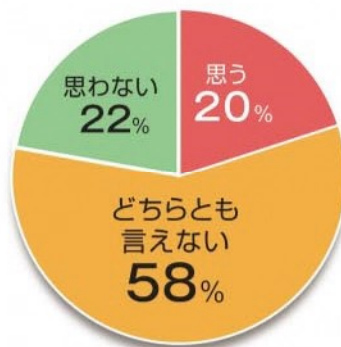
Q3 災害に対する備えが充実していると思いますか？



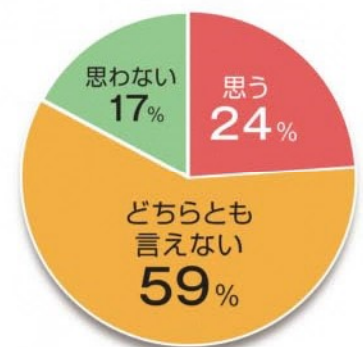
Q4 地域活動が活発なまちだと思いますか？



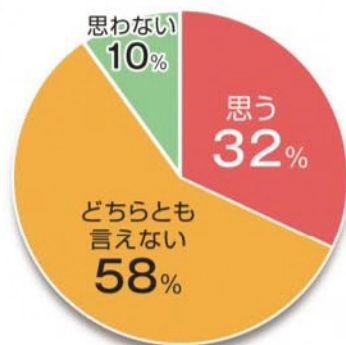
Q5 地域の絆があるまちだと思いますか？



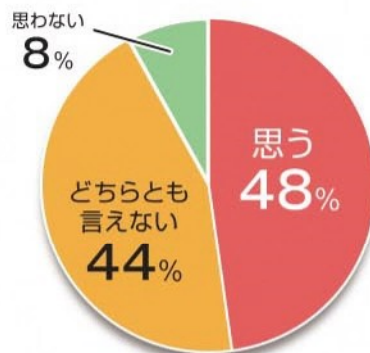
Q6 高齢者が安心して暮らせるまちだと思いますか？



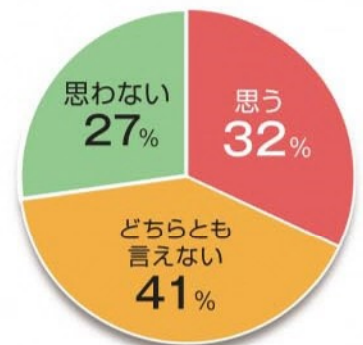
Q7 子育てがしやすいまちだと思いますか？



Q8 清潔できれいな環境が保たれていると思いますか？



Q9 祭りなどの文化・伝統があるまちだと思いますか？



Q10 どの分野に力を入れるべきだと思いますか？

(人)

	総計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
交通安全・防犯	6,357	217	561	898	1,403	1,027	1,046	893	312
地域防災	4,620	141	383	568	964	848	818	667	231
環境保全	2,096	61	158	197	407	367	448	338	120
青少年健全育成	1,159	64	109	181	270	142	168	166	59
健康づくり・スポーツ	1,512	75	148	154	253	201	275	302	104
伝統・文化	628	21	62	64	112	101	108	117	43
高齢者支援	4,054	63	188	265	600	662	936	952	388
子育て支援	2,541	83	279	650	635	326	299	209	60
障がい者支援	855	25	60	69	128	172	154	162	85

総計、各年代の回答数の多かった順番 1番  2番  3番

Q11 まちの課題は？

学童保育の不足

外国籍の子どもとの意思疎通

災害に対する危機感が希薄  
地域ぐるみの防災訓練がない

高齢者の交通手段の確保

交通量が多い。自転車・自動車の運転マナーが悪い。

スポーツの活性化

子育てしながら、働きやすい環境づくり

健康づくり

隣近所のつきあいが少ない

子育てしながら、働きやすい環境づくり

自治会活動などの役員のなり手不足

空き家・空き地の増加

障がい者の取組が少ない

祭りや伝統文化の継承者がいない

町が管理する神社仏閣の寄付や維持が大変

Q12 わがまちの誇れるもの、自慢できるもの、大切にしたいものは？



登校・下校時もボランティアの方に立っていただき、安心して学校へ行かせられる。

車がない人も自転車で暮らせる町(駅に近い、スーパーなど買い物場所が多い)

近くに海、山があり、田畑など自然環境が多い。

工場(企業)もまあまあ有る

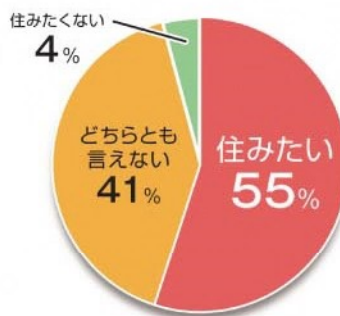
自治会による町内清掃等、住民が協力的に行っている。行事運営が毎年スムーズであること

唐人おどり・山の神・地藏大マツ・盆踊りなど一朝一夕で成り立たないものがあること

桜の森公園、石垣池公園、海の見える岸岡山緑地、田古知川の桜、鈴鹿医療大学、etc.

ご近所さんとのコミュニケーションが出来ていることが誇れる、自慢も出来るし、これからも大切にしていきたい。

Q13 あなたはずっと今のまちに住み続けたいですか？



### 3 地域計画の分野別方針と主な取り組み

本会議では、令和元年11月から令和2年2月にかけて地域計画策定のための会議を4回行いました。専門部(巻末組織図参照)ごとに分かれ、今後4年間の活動の方向性をまとめました。



#### (1) 防犯安全部

##### **目標 『子どもからお年寄りまで安全で安心して生活できるまち』**

地域の課題として、防犯対策が足りない、学童通学路の交通量が多い、防犯灯の不足、交通弱者への取組、交通安全への対策、道路が狭いなどが挙げられました。

そこで、「**防犯パトロールの充実**」に取り組みます。

防犯安全部の事業として、既にパトロールを実施していますが、パトロール日誌の内容を充実させ、交通の危険箇所、防犯の危険箇所の情報共有を行いやすくし、パトロール活動を強化することで、住民が安心して暮らせる地域を目指します。

## (2) 防災部

### 目標 『目指せ!!被災者「0(ゼロ)」!!』



地域の課題として、防災意識の低さ、防災施設・備品の不足が上げられました。課題解決に繋がる事業として、避難訓練、火災予防パトロール、自治会ごとの防災訓練、公民館行事等での防災に関する啓発などが挙げられました。既に自治会ごとに取り組んでいることもありますので、防災部の計画としては玉垣・桜島地域全体の防災力向上のため、「**自主防災隊組織の結成率100%**」を目標としました。家具固定や耐震補強、備蓄品等の普及活動を行い、防災の早見表を作成しながら、自主防災隊組織の結成率向上を目指します。

## (3) 青少年育成部

### 目標 『安全・安心 集い合い 笑顔であいさつ 玉桜』



当部の前身である玉垣地区青少年健全育成町民会議では、親子で行く工場見学、みまもりパトロール、ポスター標語コンクールの事業を行ってきました。その中で、地域活動の見直しと担い手不足が課題となっています。

また、世代間のコミュニケーション不足、近所付き合いが少ない、地域モラルの低下といった状況があり、子どもたちを見守る地域づくり、子どもの居場所作りを進めていきたいと考えています。

この4年間の取組としては、「パトロール」に着目し、防犯安全部やまちづくり部などと一緒に「ながらパトロール」の仕組みを構築したいと考えています。犬を散歩しながら、買物をしながら。そんな「ながらパトロール」により、子どもの安全を守りつつ、世代間のコミュニケーションを取って、人材の発掘にも繋げていけたら、と考えています。

## (4) 健康スポーツ部

### 目標 『わくわくイベントでいきいきに!!』



玉垣と桜島には、それぞれスポーツ振興会があるため、玉桜が一体となって出来る行事が無く、一緒にスポーツができる仕組みづくりが課題です。

また、区域が広すぎることで、複数の学校区があること、玉垣と桜島で繋がりがあまりないこと、国道23号を挟んでいることも課題です。

現在の活動を見直しながら、高齢者も安心してスポーツをし、健康づくりを推進するような事業を展開していきたいと考えています。

まち歩きによる「我がまちの再発見」とコミュニケーションを深める効果が期待できる「フォトロゲイニング※」というスポーツイベントを4年以内に玉桜として開催できるよう、まずは役員同士の交流を深めながら取り組んでいきます。

※地図をもとに、時間内にチェックポイントを回って写真を撮り、得点を集めるスポーツのこと。

## (5) 文化振興部

### 目標 『誰もが参加したくなる』



当部の前身である玉垣地区文化振興会では、伊勢型紙教室、夏休みシネマ劇場、陶芸教室、餅つき大会、玉垣地区文化祭といった様々な文化イベントを開催してきました。

一方で、地域の文化財に関わる事業はほとんど行ってきませんでした。まちづくりアンケートでも、三重県指定天然記念物の「地蔵大マツ」（西玉垣町）、三重県指定無形民俗文化財の「唐人おどり」（東玉垣町）をはじめ、獅子舞、神社仏閣などが地域の宝物として多数挙げられていましたが、これらを管理している自治会等では、維持していくことを危惧する声が多数ありました。

文化振興部としては、まちづくり部や健康スポーツ部などと一緒に、今ある事業を活用しながら**「文化財文化イベントを広める活動」**に取り組んでいきます。

また、玉桜キャラクター作成にも取り組んでいきたいと考えています。

## (6) 社会福祉部

### 目標 『誰もが気軽に集まる優しい地域づくり』

当部は、玉垣地区社会福祉協議会の事業を受け継ぎ、玉垣と桜島の民生委員児童委員協議会と連携を取りながら、社会福祉の増進を図っていきたくと考えています。

これまで、福祉事業としては、玉垣地区敬老会、一人暮らし高齢者への給食サービス、音楽いきいき教室、介護予防教室などがありました。しかし、本当の福祉は日常にあると考えています。

元気な高齢者が多く、小さい子どもがいる若い世代も多い地域ですが、一人暮らし世帯や核家族世帯の増加、地域コミュニケーションの希薄化が進み、困ったときの近所同士の助け合いが減ってきていると感じます。

そこで、社会福祉部が中心となり、**「玉桜支え合いネットワークの開設」**を旨として、調査研究から始めたいと考えています。

また、まちづくりアンケートでは、高齢者が気軽に話し合える場所を求める声もあることから、**「自治会単位のサロンの開設」**にも取り組んでいきます。

## (7) まちづくり部

### 目標 『子どもも大人も住んで良かった玉桜』

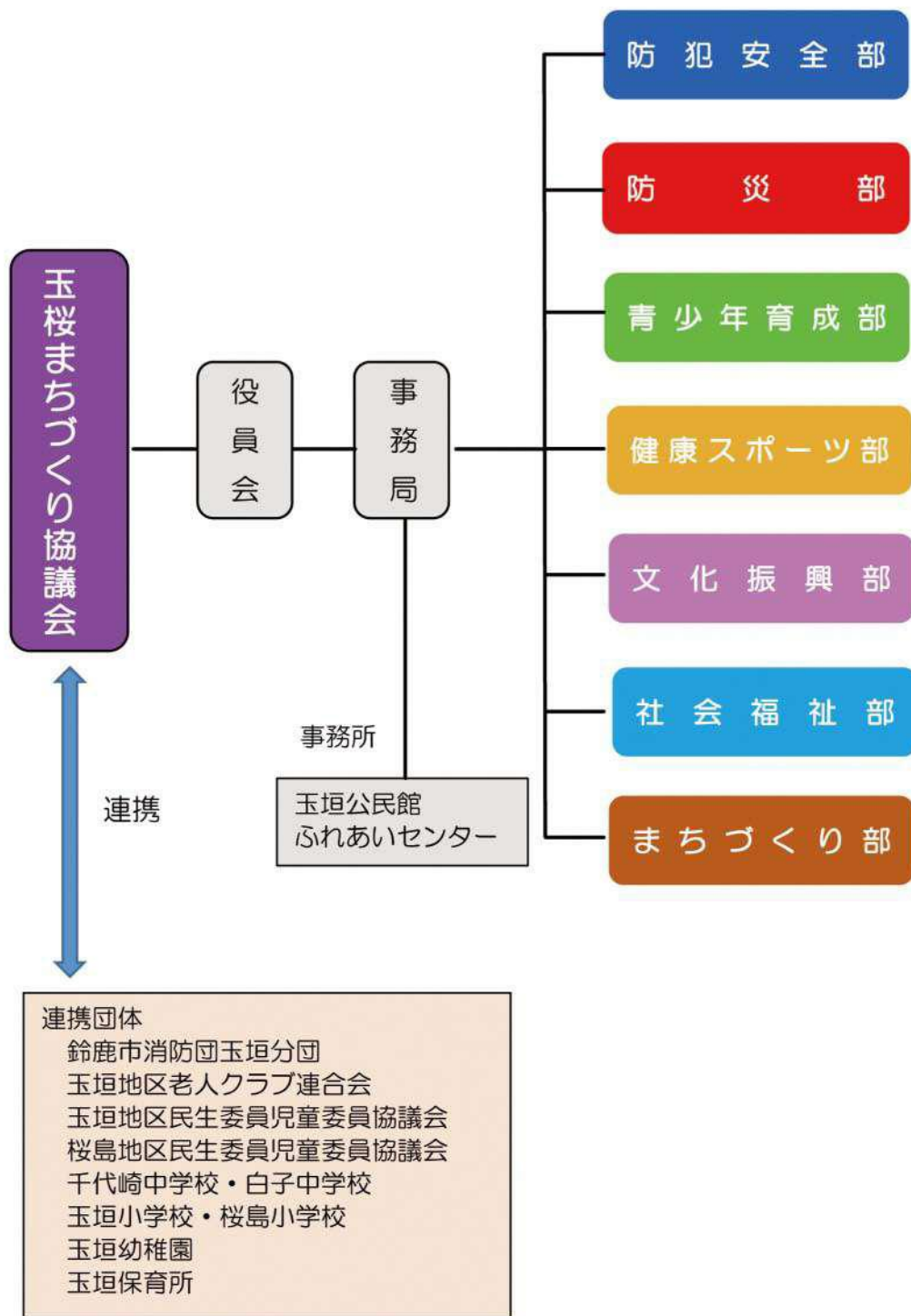


当部は、自治会長により構成されており、全ての分野に接点があるため、各部のサポート役を担っていきます。

また、「地域づくり」については、なかなか住民に認識されていないことも実感しており、「地域づくり」を周知することも当部の役割と思っています。

地域づくりを理解し、関わりを増やし、担い手を育てることを目標に、『「やってみよう」と「やってほしい」のマッチング』に取り組んでいきます。

# 玉桜まちづくり協議会 組織体制



※玉垣区域、桜島区域ごとに事業を行うこともあります。

発行 玉桜まちづくり協議会

鈴鹿市北玉垣町 980 (玉垣公民館内)